

巻末資料 1 キャリア教育に関するアンケート

(1) キャリア教育担当者用アンケート

キャリア教育に関するアンケート

愛知県総合教育センター

Q1～Q10の質問ごとに当てはまるものを選び、その番号を で囲んでください。

Q1 学校の校種をお答えください。

- 1 小学校 2 中学校 3 高等学校（普通科） 4 高等学校（専門学科）
5 高等学校（総合学科） 6 高等学校（普通科・専門学科併設）

Q2 キャリア教育（勤労観，職業観を育てる教育）を主に実施している学年を一つ選んでください。

- 1 小学校低学年 2 小学校中学年 3 小学校高学年 4 中学校第1学年 5 中学校第2学年
6 中学校第3学年 7 高校第1学年 8 高校第2学年 9 高校第3学年 10 実施していない

Q3～Q10 勤労観，職業観を育てる教育に関する行事（取組）の実施についてお答えください。

Q3 進路適性検査や職業適性検査 1 実施している 2 実施していない

Q4 職場見学や企業見学 1 実施している 2 実施していない

Q5 就業体験（インターンシップ）や職場
体験 1 実施している 2 実施していない

Q6 上級学校見学や上級学校体験入学 1 実施している 2 実施していない

Q7 外部講師による講話 1 実施している 2 実施していない

Q8 職業調べ学習 1 実施している 2 実施していない

Q9 福祉体験やボランティア活動 1 実施している 2 実施していない

Q10 上記以外の行事（取組） 1 実施している 2 実施していない

*実施の場合，行事を（ ）内に記入（ ）

Q11 職場体験の受入先の開拓をどこに協力してもらっていますか。（複数回答可）

- 1 保護者 2 教職員 3 教育委員会 4 地域住民 5 PTA役員・委員
6 商工会議所 7 その他 8 職場体験を実施していない

本アンケートについて，お気付きの点や御意見等がございましたらお書きください。

御協力ありがとうございました

(2) 教員用アンケート

キャリア教育に関するアンケート

愛知県総合教育センター

アンケートのお願い

このアンケートは、先生方の御意見をうかがうためのものです。貴校及び先生個人に御迷惑をお掛けすることは決してありません。先生のありのままのお考え、御意見をお聞かせくださるようお願い申し上げます。

(回答の仕方)

それぞれの質問に当てはまるものを一つだけ選び、その番号をアンケート回答カードに記入してください。

「キャリア教育」は、「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」、端的には、「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育」と定義されています。
(「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」より 文部科学省、平成16年1月)

先生御自身についてお聞きします。

Q1 あなたが現在勤務する学校の校種は

- 1 小学校 2 中学校 3 高等学校(普通科) 4 高等学校(専門学科) 5 高等学校(総合学科)
6 高等学校(普通科・専門学科併設)

Q2 あなたの学校での担当は

- 1 担任 2 副担任 3 養護教諭 4 主任(兼務を含む) 5 管理職 6 その他

Q3 あなたが主に担当する教科は

- 1 国語 2 算数・数学 3 社会(地歴・公民) 4 理科 5 外国語
6 芸術 7 保健体育 8 技術・家庭(家庭) 9 専門教科 10 その他

Q4 あなたの年齢は

- 1 20代 2 30代 3 40代 4 50代 5 60歳以上

キャリア教育(勤労観、職業観を育てる教育)に対する意識についてお聞きします。

Q5 ニート(若年層無業者)やフリーター(自発的離職者)が年々増加している現状をどう思いますか。

- 1 問題でない 2 どちらかと言えば問題でない 3 どちらかと言えば問題である 4 問題である

Q6 勤労観・職業観などの点で、若者の職業人としての基礎的な資質が低下してきていると思いますか。

- 1 低下していない 2 あまり低下していない
3 少し低下している 4 低下している

Q7 キャリア教育は、どの段階から実施すべきだと思いますか。

- 1 小学校入学以前から 2 小学校から 3 中学校から 4 高等学校から 5 大学から
6 大学卒業以降から

Q8 キャリア教育の実施に当たり、小学校・中学校・高等学校の系統的な連携が必要であると思いますか。

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

Q9 教員の社会勤労体験やキャリア教育に関する研修は必要であると思いますか。

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

キャリア教育（勤労観，職業観を育てる教育）の取組についてお聞きします。

Q10～Q16 キャリア教育に関する次の各行事（取組）について、下の1～4の中から当てはまる番号をそれぞれ一つ選んでください。

Q10 進路適性検査や職業適性検査

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

Q11 職場見学や企業見学

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

Q12 就業体験（インターンシップ）や職場体験

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

Q13 上級学校見学や上級学校体験入学

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

Q14 外部講師による講話

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

Q15 職業調べ学習

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

Q16 福祉体験やボランティア活動

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

Q17～Q23 勤労観や職業観を育成するための各取組について、下の1～4の中から当てはまる番号をそれぞれ一つ選んでください。

Q17 各教科における取組の中で

- 1 既に取り組んでいる 2 計画してみたい 3 計画はあるが、消極的である 4 計画していない

Q18 道徳の授業の中で（小・中学校の先生方のみ回答し、高校の先生方は空欄にしてください）

- 1 既に取り組んでいる 2 計画してみたい 3 計画はあるが、消極的である 4 計画していない

Q19 総合的な学習の時間の中で

- 1 既に取り組んでいる 2 計画してみたい 3 計画はあるが、消極的である 4 計画していない

Q20 学級活動（L T）の中で

- 1 既に取り組んでいる 2 計画してみたい 3 計画はあるが、消極的である 4 計画していない

Q21 学校行事の中で

- 1 既に取り組んでいる 2 計画してみたい 3 計画はあるが、消極的である 4 計画していない

Q22 部活動の中で

- 1 既に取り組んでいる 2 計画してみたい 3 計画はあるが、消極的である 4 計画していない

Q23 委員会活動の中で

- 1 既に取り組んでいる 2 計画してみたい 3 計画はあるが、消極的である 4 計画していない

Q24～Q25 キャリア教育（勤労観，職業観を育てる教育）を実施する上での課題は何ですか。下の1～9の中から当てはまる番号をそれぞれ一つ選んでください。

Q24 1番目の課題として考えられること

Q25 2番目の課題として考えられること

- 1 時間の確保 2 指導担当教員の確保 3 予算の確保 4 受入企業や事業所の確保
5 プログラムの開発 6 キャリア教育に関する専門的な知識の充足 7 教員間の共通理解
8 小・中・高での体験学習内容の重なるの解消 9 その他

Q26～Q27 キャリア教育（勤労観，職業観を育てる教育）について率直に思うことを，下の1～8の中から当てはまる番号をそれぞれ一つ選んでください。

Q26 1番目に強く思うこと

Q27 2番目に強く思うこと

- 1 児童生徒にとって有意義である 2 望ましい進路指導が実現できそうな期待感がある
3 提唱されている内容が分かりにくい 4 学校現場に浸透するかどうか未知数である
5 教員が果たすべき役割が分からない 6 進路指導とキャリア教育の違いが分かりにくい
7 一時的な流行で，いずれ忘れ去られる 8 その他

キャリア教育（勤労観，職業観を育てる教育）の今後についてお聞きします。

Q28～Q35 キャリア教育において育成が期待される能力について率直に思うことを，下の1～5の中から当てはまる番号をそれぞれ一つ選んでください。

Q28【自他の理解能力】:

自己理解を深め，他者の多様な個性を理解し，互いに認め合うことを大切にして行動できる能力。

- 1 期待できる 2 少し期待できる 3 あまり期待できない 4 期待できない 5 分からない

Q29【コミュニケーション能力】:

様々な人々とコミュニケーションを図り，協力してものごとに取り組むことができる能力。

- 1 期待できる 2 少し期待できる 3 あまり期待できない 4 期待できない 5 分からない

Q30【情報収集・探索能力】:

進路や職業等に関する情報を収集し，必要な情報を自己の進路や生き方の選択に生かす能力。

- 1 期待できる 2 少し期待できる 3 あまり期待できない 4 期待できない 5 分からない

Q31【職業理解能力】:

学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解することができる能力。

- 1 期待できる 2 少し期待できる 3 あまり期待できない 4 期待できない 5 分からない

Q32【役割把握・認識能力】:

生活・仕事上の多様な役割の中で，自己の果たすべき役割について認識することができる能力。

- 1 期待できる 2 少し期待できる 3 あまり期待できない 4 期待できない 5 分からない

Q33【計画実行能力】:

将来の生き方や生活を考え，社会の現実を踏まえながら，前向きに自己の将来を設計する能力。

- 1 期待できる 2 少し期待できる 3 あまり期待できない 4 期待できない 5 分からない

Q34【選択能力】:

自らの意志で，進路・職業に関してよりよい選択や決定を行うことができる能力。

- 1 期待できる 2 少し期待できる 3 あまり期待できない 4 期待できない 5 分からない

Q35【課題解決能力】:

希望する進路の実現に向け，自ら課題を設定して積極的に取り組む能力。

- 1 期待できる 2 少し期待できる 3 あまり期待できない 4 期待できない 5 分からない

Q36 キャリア教育（勤労観，職業観を育てる教育）が教科・科目の学習や主体的に学ぼうとする意欲の向上につながるとお思いますか。

- 1 思う 2 少し思う 3 あまり思わない 4 思わない

Q37 キャリア教育（勤労観，職業観を育てる教育）を今後一層進めていくことは必要だと思いますか。

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

御協力ありがとうございました